

証券コード：2397

第19期 事業報告書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

 株式会社DNAチップ研究所

株主の皆様へ



代表取締役社長の
場 亮

をしながら、世の中に役立つ、研究開発、商品開発を行い、サービスを展開してまいりました。そしてさらに、診断事業へ展開し、情報化時代に即した、最新の技術を取り入れるとともに、独自技術開発によりがん・生活習慣病・精神疾患等の個別化医療実現を目指し、誰もが健やかに、幸せに暮らせるための診断ツール開発を行ってまいります。

当期の経営成績

当期におけるわが国経済は、金融緩和をはじめ政府の各種経済対策を背景に、企業業績や雇用・所得環境に改善傾向が見受けられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、米国の新政権の政策動向や東アジアの地政学リスクなどによる国内景気への影響などから、先行きは不透明な状況となっております。

当社を取り巻くライフサイエンス分野におきましては、近年、ヒトiPS細胞関連の臨床試験が盛んに行われており、再生医療の実用化が本格化してきました。また、再生医療分野に異業種を含めた様々な企業が参入するなど、再生医療の産業化が本格的なステージに入ってきました。今後、再生医療分野の市場規模は大きく拡大することが予測されております。

最新のがん治療におきましては、従来の三大治療である「手術（外科治療）」、「薬物治療（抗がん剤治療）」、「放射線治療」に加えて、「免疫療法（体の中に侵入した異物を排除するために、生まれながらに備えている能力を高め、がんの治療を行う方法）」が注目されています。近年、免疫療法に用いる「免疫チェックポイント阻害剤」が医薬品として承認され、従来自由診療であった免疫療法による治療が一部保険診療可能となり、患者負担が少なく治療を受けることが可能になりました。

また、遺伝子解析技術の向上により、今後がん予防や治療に新たな展開が期待されております。当社におきましても、血液を用いて肺がんの遺伝子変異検査を行う、「EGFR-NGS Check」の薬事承認・保険収載を最優先事項として取り組んでおります。

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨今の遺伝子を中心としたバイオテクノロジー技術の進歩は目覚ましく、それらを利用した新しい発見や研究成果などから、医療分野への応用が広がっています。一方で、世界的な超高齢化社会を迎えるにあたり、我々は、労働力の減少、年金や社会保障の問題など、様々な社会問題を抱えています。特に、国民医療費は年々増加し、国の財政の多くを占めており、これを解決するためには、予防医療のための（病気になるための）新しい診断ツール開発が期待されています。

DNAチップ研究所は設立以来、ライフサイエンス分野を通じて、遺伝子やゲノムのエキスパートとして優れた技術開発

なお、当社創業者である松原謙一氏（現当社顧問、国立大学法人大阪大学名誉教授）が、遺伝子組み換え技術の開発と発展への貢献、B型肝炎ウイルスのゲノム研究を進めワクチンを開発、安全に大量生産する道を開くなどの成果が認められ、2017年11月に文化勲章を受賞いたしました。

このような状況下において当社は、方針を「開発力強化と事業化加速」と定め、研究受託事業の成長と診断事業の差別化を目指しております。

この結果、当期の売上高は、362百万円（前期比111.8%）、営業損失は125百万円で、経常損失は126百万円、当期純損失は127百万円となりました。

研究受託事業

研究受託事業におきましては、主な事業として受託解析サービスを行っております。大学や研究機関、製薬・食品会社等を主な顧客として、遺伝子関連解析のサービスや解析結果の統計処理のサービスを提供しております。主なサービスは、マイクロアレイ受託解析サービスと次世代シーケンス受託解析サービスがあります。

マイクロアレイを使用した受託解析サービスでは、製薬・食品会社等の顧客に積極的な提案型営業を行うとともに、大学、研究所機関等の顧客にはきめ細かなフォローを推進しております。

また、「デジタルPCR受託サービス」や「再生医療研究分野に向けた間葉系幹細胞の品質評価解析サービス（C3チェックサービス）」等新規サービスメニューの拡充を図っております。

次世代シーケンスを使用した受託解析サービスでは、顧客の目的に合わせた実験デザインの提案、データ解析及びサポートに力を入れております。また、「16SrRNA細菌叢解析」等新規サービスメニューの拡充を図っております。

いずれのサービスにつきましても、他社との差別化を意識し、クオリティの高い内容をお客様に提供すべく取り組んでおります。

その結果、当期売上高は、318百万円（前期比102.4%）となりました。

診断事業

診断事業におきましては、血液を用いて肺がんの遺伝子変異を検査する「EGFR-NGS Check」の市場への普及を当社の最優先事項として取り組んでおります。現在この検査の薬事承認、保険収載を目指した活動を行っております。こうした活動によって「EGFR-NGS Check」を、日本ではじめて次世代シーケンス技術を用いた薬事承認検査としていくことを目標としております。

また、同時に遺伝子解析を用いた関節リウマチの薬剤効果予測検査、うつ病の診断技術の開発も積極的に進めております。

「免疫年齢」は、順調に契約クリニック数を増やしており、安定的に受注を獲得しております。

その結果、当期の売上高は、44百万円（前期比325.2%）となりました。

平成30年6月

代表取締役社長の 場 亮

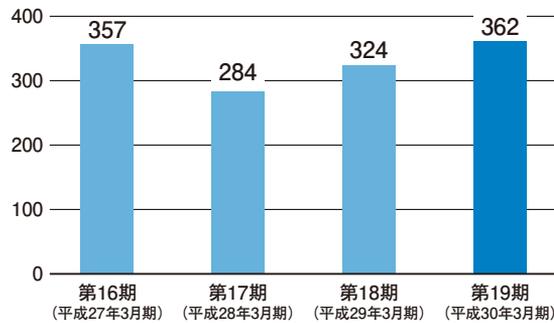
Contents

- 株主の皆様へ 1
- 財務諸表 3
- 事業の内容 5
- 会社の概況 6



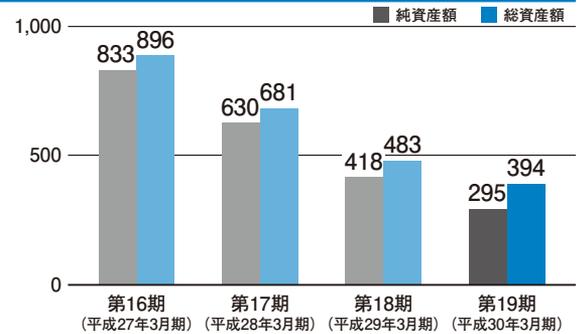
売上高

(単位：百万円)



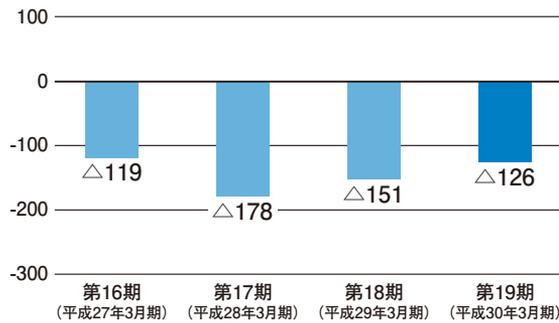
純資産額／総資産額

(単位：百万円)



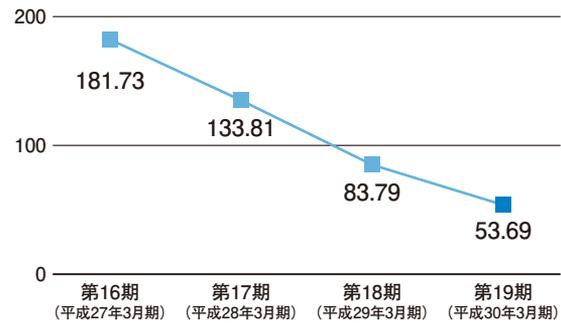
経常利益

(単位：百万円)



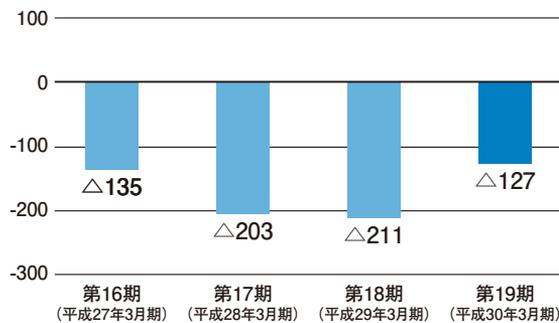
1株当たり純資産額 ※

(単位：円)



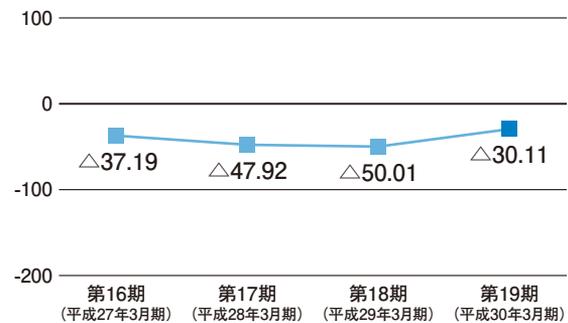
当期純利益

(単位：百万円)



1株当たり当期純利益 ※

(単位：円)



※注 平成26年12月8日に第三者割当増資により発行済株式は848,000株増加しました。

財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	前事業年度 平成29年3月31日	当事業年度 平成30年3月31日	科目	前事業年度 平成29年3月31日	当事業年度 平成30年3月31日
資産の部			負債の部		
流動資産	477,536	364,827	流動負債	59,807	93,054
現金及び預金	355,213	220,436	買掛金	22,365	52,322
受取手形	15,471	24,112	未払法人税等	7,813	8,225
売掛金	97,078	104,694	未払消費税等	6,062	1,458
商品	0	905	未払費用	22,417	24,785
仕掛品	240	807	未払金	—	3,359
貯蔵品	1,272	4,612	預り金	1,147	2,902
前払費用	7,383	7,539	固定負債	4,881	6,196
その他	876	1,718	退職給付引当金	4,881	6,196
固定資産	5,544	29,594	負債合計	64,688	99,250
有形固定資産	0	24,748	純資産の部		
建物	0	0	株主資本	355,089	227,510
工具、器具及び備品	0	24,748	資本金	1,400,024	1,400,024
無形固定資産	771	674	資本剰余金	1,312,574	1,312,574
特許権	771	674	資本準備金	1,312,574	1,312,574
施設利用権	0	0	利益剰余金	△2,357,440	△2,485,019
ソフトウェア	0	0	その他利益剰余金	△2,357,440	△2,485,019
投資その他の資産	4,773	4,171	繰越利益剰余金	△2,357,440	△2,485,019
投資有価証券	0	0	自己株式	△68	△68
敷金	3,576	3,548	新株予約権	63,303	67,661
長期前払費用	—	622	純資産合計	418,392	295,171
その他	1,197	—	負債及び純資産合計	483,081	394,421
資産合計	483,081	394,421			



損益計算書

(単位：千円)

科目	前事業年度	当事業年度
	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日
売上高	324,646	362,843
売上原価	263,767	245,748
売上総利益	60,879	117,094
販売費及び一般管理費	213,443	242,122
営業損失	△152,564	△125,027
営業外収益	1,379	638
受取利息	4	2
受取賃借料	1,292	237
その他	81	398
営業外費用	—	2,243
新株予約権発行費	—	2,189
為替差損	—	53
経常損失	△151,226	△126,632
特別利益	—	2
その他	—	2
特別損失	59,486	0
減損損失	59,486	—
その他	0	0
税引前当期純損失	△210,713	△126,629
法人税、住民税及び事業税	1,196	950
当期純損失	△211,909	△127,579

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日	自平成29年4月1日 至平成30年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	△135,401	△102,930
投資活動による キャッシュ・フロー	△8,327	△29,657
財務活動による キャッシュ・フロー	△25	△2,189
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△143,754	△134,777
現金及び現金同等物の 期首残高	498,968	355,213
現金及び現金同等物の 期末残高	355,213	220,436

株主資本等変動計算書

(自平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						株主資本 本計	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式			
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	1,400,024	1,312,574	1,312,574	△2,357,440	△2,357,440	△68	355,089	63,303	418,392
当期変動額									
当期純損失(△)				△127,579	△127,579		△127,579		△127,579
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								4,357	4,357
当期変動額合計				△127,579	△127,579		△127,579	4,357	△123,221
当期末残高	1,400,024	1,312,574	1,312,574	△2,485,019	△2,485,019	△68	227,510	67,661	295,171

事業の内容

■ 研究開発

DNAチップ研究所は、ライフサイエンス研究とバイオ産業に貢献する研究開発型ベンチャー企業です。以下を常に心がけ、研究に取り組んでいます。

1. 「創造的革新」をモットーに
2. グローバル化を意識した最高レベルの技術を磨き
3. 信頼関係に基づく共同研究と自己啓発に努め
4. 国際的情報収集、先進的情報解析能力を駆使し
5. この分野で第一の研究ベンチャーとして
6. レベルの高い研究成果を出すのに貢献する

■ 研究テーマ

→RNAチェック™

- 関節リウマチ薬剤効果予測、疾患マーカー探索
- うつ病マーカー探索
- 免疫年齢
- 大腸癌診断用チップの開発とそれを用いたステージII大腸癌の予後予測
- 悪性神経膠腫（グリオーマ）の予後予測アルゴリズムの開発

■ 受託サービス

異なるプラットフォームを用いた多面的な研究受託サービスメニューの提供をいたします。実験計画のお手伝いから、実験、統計解析、論文作成など専門のスタッフが細やかにサポートいたします。

- マイクロアレイを用いた遺伝子発現解析、miRNA発現解析、ゲノム構造解析
- 次世代シーケンサを用いた遺伝子発現解析、Small RNA解析、エクソーム解析、メチレーション解析
- Real Time PCR、デジタルPCRによる遺伝子発現解析、miRNA発現解析、ゲノム解析
- 統計解析サービス

■ 診断事業（研究用）

-  リウマチチェック 関節リウマチ生物学的製剤インフリキシマブの効果予測検査サービス
-  MammaPrint（マンマプリント） 乳癌の再発リスクを予測する新しい検査サービス
- 免疫年齢：遺伝子発現による生体年齢予測検査サービス
- EGFR-NGS Check：血しょう遊離DNAのEGFR遺伝子低頻度変異検出サービス

■ 製品

-  ハイブリ先生 教育用DNAチップ教材
-  TBONE EX Kit：硬組織（歯牙・骨）用DNA抽出キット

会社の概況

■ 会社概要

会社名 株式会社 DNAチップ研究所
英文名 DNA Chip Research Inc.
設立年月日 1999年4月1日
住所 東京都港区海岸一丁目15番1号
資本金 140,002万円
従業員 29名 (内Ph.D. 8名 役員含)
役員 代表取締役社長 的場 亮
取締役 堀川 裕司
取締役 (監査等委員) 山田 國夫
取締役 (監査等委員) 片山 登喜男
取締役 (監査等委員) 君塚 元一
加盟団体 財団法人バイオインダストリー協会(JBA)
NPO法人 バイオチップコンソーシアム (JMAC) 等

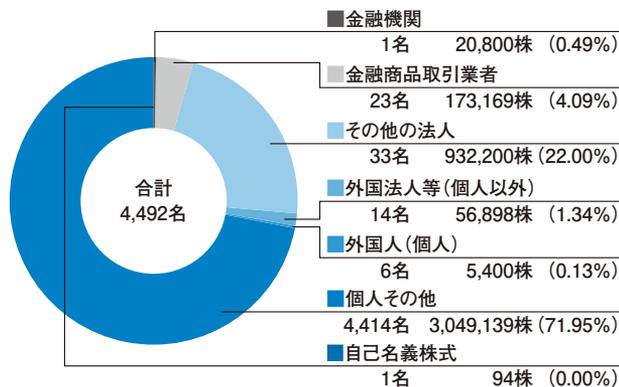
■ 株式の状況

①発行可能株式総数 10,080,000株
②発行済株式総数 4,237,700株
(自己株式94株含む)
③株主数 4,492名

■ 大株主

株主名	持株数	持株比率
株式会社 エンプラス	848,000株	20.01%
藤井 衛	170,000株	4.01%
森 淳彦	70,000株	1.65%
藤尾 晋作	65,000株	1.53%
枝松 七郎	63,400株	1.49%
吉 富 逸 雄	50,000株	1.17%
上野 賀 亮	40,000株	0.94%
蔵野 孝 行	40,000株	0.94%
戸島 和 博	37,400株	0.88%
株式会社証券ジャパン	36,500株	0.86%

■ 株主分布状況



■ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

剰余金の配当 3月31日（期末配当金）

受領株主確定日 9月30日（中間配当金）

定時株主総会 6月

公告掲載方法 電子公告
電子公告は当社のホームページに記載しております。
ホームページアドレス
(<http://www.dna-chip.co.jp/>)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の
口座管理機関 東京証券代行株式会社
東京都千代田区大手町二丁目6番2号
(日本ビル4階)

(郵便物送付先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(連絡先) 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
電話 0120-232-711（通話料無料）

・住所変更等のお申出先について

お取引口座のある証券会社にお申出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続につきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申出ください。

(ご案内)

少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。

ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

■ 当社ホームページのトップ画面



<http://www.dna-chip.co.jp/>